

椿だより

第2号 平成27年 秋

社会福祉法人 宗得会

横須賀市太田和2-3-21

Tel 046-857-9598

Fax 046-857-9894



お祝い膳



椿マジック！！
どうなっちゃうの～

新



9月13日、特養敬老祝賀会が行われました。

理事長の挨拶からはしまり、喜寿・米寿・白寿の方の表彰をしました。お食事はご家族とお祝い膳、デザートバイキングを召し上がり、楽しいひとときを過ごされていました。

ボランティアさんと職員は、日本舞踊、マジック、コーラス、笑点を披露し、敬老会は大いに盛り上がりました。

ご利用者の皆様がますますお元気で、横須賀椿園での生活を送ってくださることを、職員一同お祈りいたしております。



平成27年9月13日 特養敬老祝賀会の風景です

軽度認知障害(MCI)と認知症予防

ホーム長 大澤憲夫

先日、簡単な血液検査で軽度認知障害(以下、MCI)が80%の精度で識別できるという非常に興味深い話が放映された。認知症の中でも、アルツハイマー病は約20年も前から隠れて進行しているということで、例えば、60歳で発症した人は、既に40歳の時に脳に異変が起きていることになる。アルツハイマー病は、アミロイドβというタンパク質が脳内に蓄積し神経細胞を障害することから起こり始めるが、必ずしもこの段階から、すぐに認知機能には異常は見られない。

この無症状の時期をプレクリニカル期と言い、その後、物忘れの症状が目立つようになるのがMCI期で、この物忘れが目立つMCI期までに介入することができれば、アルツハイマー病の予防に十分な効果が得られると予測されている。

認知症を生活習慣病に例えるならば、食事や運動などで生活習慣病を予防できるのであるから、認知症も早期の段階で、認知機能トレーニングなどで予防できるということである。

上記の血液検査の普及により、認知症の前段階であるMCIを判定することができ、認知症の6割以上を占める、アルツハイマー病の予防につなげることが可能になるならば、今後の認知症高齢者の抑制に大きな期待が持てるようになるのではないだろうか。

認知症予防に関する国内外の裏付け(エビデンス)は沢山ある。歌、楽器、ダンス、計算ドリル、習字、塗り絵、運動ならばウォーキングなどの有酸素運動が効果的だと言われている。また、脳細胞には他の臓器に無い代替機能があり、健全な脳細胞が知的刺激を与えることで、障害のある脳細胞に代わって、その機能を発揮するようだ。また、近頃の研究では、一度途切れた脳細胞の伝達機能が再生することも分かっている。このように年を取っても脳を鍛えることで、活性化し認知機能の改善と維持が可能であるということは、今後の認知症ケアに大きな励みと希望になるのではないかと考えている。



「敬老会秋祭り」での合唱

デイサービスセンター椿

「認知症カフェ」の開催に向けて

管理者 榎井淑子

デイサービスセンター椿では、認知症対応型デイサービスと介護予防を中心とした短時間(午前、午後各3時間15分)のデイサービスを提供しています。昨年は、年2回でしたが「ランチで話そう認知症」という介護予防の方を中心に認知症についての勉強会を開催いたしました。

今年は、早い時期に「認知症カフェ」の開催に向けて準備をしましたが、3年に1度の介護保険法の改定から、介護報酬の大きな改訂などもあり、遅れて来年1月の開催予定となりました。認知症に対する地域の関心も強くなってきており、また、認知症予防や認知症治療薬も進んできております。様々な認知症に関する情報や在宅介護で悩んでいる方の相談、介護疲れの息抜きの場などにできたらと思っています。開催の詳細については、12月中旬頃にお知らせいたします。



先生の唄に合わせて手踊りの練習

横須賀椿園デイサービス



デイサービス敬老会の風景

デイサービスには日頃いろいろなボランティアの方が来てくださっています。

敬老会の時にも藤間会さんによる日本舞踊、オハナのみなさんによるフラダンスとウクレレ、そしてヨガインストラクターさんも小学生の娘さんと来園してくださり、ご利用者の皆様と楽しい時間を過ごす事ができました。

浅葉「今、介護施設は慢性的な人材不足に悩まされています。3Kや低収入といったマイナスイメージばかりが伝えられていると、また体力や高齢者との「ミニエーシング」能力が求められるため、とくに若い人達から敬遠されてしまふことなどが要因として挙げられます。」

大澤「私が実際に介護業務に携わっていたのは三十年以上前ですが、現場の過重労働、介護を取り巻く環境や制度はその当時と何ら変わっていません。そのため何ら事についてもすぐに諦めてしまう人も多い。やりがいと感動に溢れた素晴らしい仕事なのですが。」

浅葉「入職した貴重な人材を大切に育てていくことが重要ですね。将来設計ができ、希望がもてるような職場環境にしなければならぬ。専属の新人育成担当職員を配置し、職場全体でバックアップできるような体制の強化が必要ではないかと思えます。」

大澤「即戦力として求めるのが早すぎるというのもあるかもしれません。時間をかけて新人育成をすることも大切なことです。また、新人同士が部署の垣根を超えて相談したり、話し合えたりでき

大澤 幸夫

1958年生まれ
東北福祉大学
社会福祉学部卒

2001年
特別養護老人ホーム
横浜賀橋園
副施設長就任

2003年
グループホームつばき
ホーム長就任



大澤「そうですね。法人の理念、方針をきちんと理解してそれを他の職員にしっかりと伝え、実現していくこともリーダーの基本的な姿勢です。外部の研修に積極的に参加する機会をつくること、あるいは法人内部での研修を充実させていくこと、

対談～未来を語る あこがれの介護士 育成プロジェクト



浅葉 統太

1973年生まれ
青山学院大学大学院
電気電子工学科卒

2001年
特別養護老人ホーム
横浜賀橋園入職

2006年
施設長就任

るような環境づくりを推進することが、職員の定着にも繋がります。」

浅葉「さらに、資質の高いリーダーの存在も求められます。現場で様々なケアを漫然と行うのではなく、自分で考え、判断し、遂行する、そんな推進力のあるリーダーが育つ土壌を整えていかなくてはなりません。『やりたい介護』という理想を持って『利用者』の立場に立ったケアを実践する、そんなリーダーが育つてほしいですね。」

日々の事例研究なども有効な手段です。介護士の記録をリーダーが評価する等、特別なことをしなくても日々の業務の積み重ねがリーダーをより頼もしい存在に成長させてくれると思います。」

浅葉「介護職のマイナスイメージを払拭するためには、まず『家族や地域の方々にこの仕事の重要さ、すばらしさを理解してもらおう』という働きかけもとても大切ですね。医師、看護師と同様にかげがえのない職業であると認識してもらえらるよう。」

大澤「そのためには介護士が高い専門性を身につけることです。利用者が夜になるのを待ちわびるような夜勤職員、利用者の排泄についてあらゆることを知り尽くした排泄ケアのプロなど、専門性を高めて介護士の価値を認めてもらえば処遇も追いついてくるはずです。」

浅葉「日々の地道な努力を重ねていけば、介護士はあこがれの職業になる、そんな夢を持つ人材を育てていきたいと思います。」



西第一地域包括支援センター

です。
山科台、太田和、萩野、長坂、佐島、住島の丘、芦名、秋谷、子安、湘南国際村を担当しています。

当包括支援センターは、「今」を維持して**生涯現役**をめざしましょう！を合言葉に、介護予防教室を開催しています。教室に参加すると、明日からの生活に役立つような内容が満載です。町内会の同窓会等でお知らせしています。少しでも皆様の**生涯現役**をお手伝い出来ればと思っています。また、自主的に活動をするグループを造りたい場合のお手伝いもしています。

体操教室、料理教室、認知症サポーター養成講座、消費者被害防止講座、高齢者虐待防止・成年後見制度の講座など開催したいが先生をしてほしい、先生を紹介して欲しい時、介護に関する相談、ご近所の一人暮らしの人が気になるなど「どこに相談すればいいかわからない」という時にも、まずはご連絡下さい。介護、健康、医療、虐待、財産管理、行政の事などどんな事でも大丈夫です。相談内容に適した情報提供や助言など、いろいろなご要望に応えられるように頑張っていますので、よろしくお願いします。

西第一地域包括支援センター
(横須賀橋管内)

TEL: 857-9939

職員: 佐々木、伊藤、野澤、牧

行事予定

12月 イルミネーション見学
クリスマス会

1月 初詣

2月 節分

3月 ひな祭り
お花見



編集後記

街中ではクリスマスのイルミネーションが綺麗ですね。
椿園の中心でもささやかながらイルミネーションを飾っており、ご利用者の皆様からも好評を得ています。

春さへ負けずお身体に気をつけて、よいお年をお迎え下さい。(椿姫M)

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	230,240,254	流動負債	34,240,257
固定資産		固定負債	56,885,463
基本財産	1,367,032,398		
その他の固定資産	59,076,518	負債の部合計	91,125,720
		純資産の部	
		基本金	836,825,090
		国庫補助金等特別積立金	442,047,291
		その他積立金	7,481,902
		次期繰越活動増減差額	277,860,417
		(うち当期活動増減差額)	26,291,919
		純資産の部合計	1,565,225,420
資産の部合計	1,656,359,240	負債及び純資産の部合計	1,656,359,240
事業活動計算書		資金収支計算書	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
サービス活動収益計	590,755,730	事業活動収入計	592,026,341
サービス活動費用計	563,467,840	事業活動支出計	548,411,870
サービス活動増減差額	27,287,890	事業活動資金収支差額	43,614,471
サービス活動外収益計	1,742,551	施設整備等収入計	15,536,500
サービス活動外費用計	1,600,020	施設整備等支出計	30,626,881
サービス活動外増減差額	142,531	施設整備等資金収支差額	△ 15,090,381
経常増減差額	27,430,421	その他の活動収入計	2,921,405
特別収益計	15,536,498	その他の活動支出計	5,031,830
特別費用計	16,695,000	その他の活動資金増減差額	△ 2,110,425
特別増減差額	△ 1,158,502	当期資金収支差額合計	26,414,165
当期活動増減差額	26,291,919	前期末支払資金残高	178,925,908
前期繰越活動増減差額	251,568,498	当期末支払資金残高	205,340,073
次期繰越活動増減差額	277,860,417		

椿園の屋上で
園芸をやっています

トマトとオクラが
豊作でした



とれたトマトをお昼に食べました